

The Philosophy of Nagahama Ceremony

## 人生最後の「ありがとう」のために。

地域に愛される会社でありたい。  
これは今も昔も変わらない、長浜セレモニーの根幹となる想いです。

私たちが目指すのは、  
お葬式を執り行なう“業者”としてのお付き合いではありません。  
お葬式だけでなく、地域の催しでも皆様から必要とされるように。  
長浜セレモニーに関わるすべての方から  
「おかげさまで……ありがとう」と言っていたるように。

ご家族・地域の皆様の「気持ち」に寄り添う、  
ライフパートナーでありたいと思っています。

100人いれば100通りの人生があるからこそ、  
どれもが「世界に一つだけのご葬儀」に。

お集まりいただいたすべての方が、  
故人様の思い出を分かち合い、生きた証を心に刻めるよう、  
一人ひとりの想いを形にしたお葬式を実現いたします。

手間暇を惜しまず、人生最後の「ありがとう」をお手伝いを。  
地域でのご縁を大切に、  
社員一同「こころ」を込めてご奉仕させていただきます。

心のこもったあたたかいお葬式を届ける



長浜セレモニー株式会社  
支配人

# 富岡 正典

たった一度の今日を、感謝と共に

長浜セレモニー 家族葬の♡ウィズユー宮前




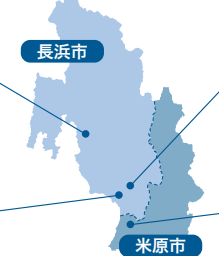



## 心のこもったあたたかいお葬式を届ける

私たちは常にお客様に満足いただける企業として感謝の「こころ」でご奉仕します  
私たちは常に「こころ」から愛される企業として地域社会に貢献します  
私たちは常に尊敬と愛情と信頼で結ばれ「こころ」をひとつにして協力の精神で社運の発展に努めます

お客様に安心と満足をご提供し、地域に愛される会社でありたい

- 地域の事情に精通した  
地域密着の葬儀社
- お葬式の費用を1円単位でお見積り  
明瞭価格で安心のプラン
- ご縁を大切に  
心をこめたご提案
- 地域密着の葬儀社だからこそできる  
充実のアフターサポート
- 葬儀社格付 (UECIA)  
最高評価5つ星を獲得
- たくさんのありがとうをいただいた  
お客様の声

### ■式場一覧

<b>家族葬の♡ウィズユー高月</b>  滋賀県長浜市高月町 柏原396-1 パワーズさん斜め向かい		<b>長浜式場</b>  滋賀県長浜市加納町 341-5 長浜1.Cより車で3分
<b>家族葬の♡ウィズユー宮前</b>  滋賀県長浜市宮前町6-4 旧国道8号線沿い		<b>家族葬の♡ウィズユー近江</b>  滋賀県米原市願戸632-4 願戸南交差点角

..... 葬儀のことなら何でもお気軽にお問い合わせください .....

☎ 0120-09-8395 通話無料 365日24時間受付

会社名 長浜セレモニー株式会社  
本社所在地 〒526-0804 滋賀県長浜市加納町341番地5  
TEL 0749-64-3415 FAX 0749-64-3416  
代表者 代表取締役 松村隆雄  
設立 2001年7月

ホームページはこちらから▶▶▶▶  
<https://nagahama-ceremony.com/>



## たった一度の今日を、感謝と共に

私が葬儀の世界に興味をもったキッカケは、伊丹十三監督作品の映画『お葬式』を中学生の頃にテレビで観たことが始まりなんです。とある家族の葬儀をコミカルかつリアルに描いており、不思議と惹きつけられる魅力を感じました。

そして高校生ときに参列した祖父の葬儀では、非日常な空間や、担当の方がテキパキと仕切る姿が印象に残っています。

「働く方々の目には何が映っているんだろう」

当時から抱いていた好奇心を探究すべく、長浜セレモニーに入社したんです。

人生初の、葬儀の仕事。まず第一に、スタッフ同士でこんなにも協力し合うのかと感動しましたね。

少数精鋭の長浜セレモニーだからこそ、チームワークは必要不可欠。うまく連携をとるには、仲間との絆が大切なんです。入社後しばらくして、「仲間に感謝心に笑顔」という経営理念が定まったときも、スッと心に馴染んだのを覚えています。

あれから15年以上、葬儀の仕事に魅了され続けているのは、お客様の数だけお葬式の形があるから。それはまるで、故人様のこれまでの人生を表しているかのようなんです。

葬儀には、「同じ1日」が存在しません。

段取りは一緒でも、お寺や宗派で決まりごとが違ったり、お家によって考え方もさまざまだったり。そこにお客様一人ひとりの想いも加われば、唯一無二の葬儀になるんです。毎日がこんなにも新鮮な仕事は、他に無いとさえ感じています。

もちろん、ずっと順風満帆だったわけではありません。担当するお式はいつだって、お客様の人生で一度きり。葬祭業と距離を置いた時期もありました。

しかし離れてみて痛感したのは、任せていただけのありがたさと、ご葬儀の奥深さ。私は、やっぱりこの仕事が好きなんです。

お客様には、後悔のないご葬儀を届けたい。だからこそ、ふとした瞬間にこぼれる言葉も逃すまいとお打ち合わせに臨んでいます。

先日、お客様が「誕生日にはフライドチキンを食べるのが恒例なんです」とおっしゃっていて。ご家族のお夜食になればと、用意してお渡ししたんです。「おばあちゃん、すごく好きだったから……」と感激してくださった姿に、私も胸がいつぱいになりました。

故人様とご家族の最後を、感謝が飛び交うあたたかい時間にしたい。

そんな思いを胸に、これからもとびきりのおもてなしをお届けできるよう、尽力して参ります。

The Philosophy of Nagahama Ceremony  
人生最後の「ありがとう」のために。

# Masanori Tomioka

